

生産性向上支援インストラクター 養成スクール 受講者募集案内 2019

募集期間：2019年6月10日～8月20日



しが産業生産性向上経営改善センター

Multi-industry Management Improvement Center for productivity

運営主体：公益財団法人滋賀県産業支援プラザ
運営協力：滋賀県・立命館大学
連 携：東京大学ものづくり経営研究センター

生産性向上支援インストラクター養成スクール

講座の狙い

県内企業の経営基盤強化・安定を図るため、生産性向上につながる支援手法を習得し、活用できる人材を育成することを目標とします。

受講対象

- ①滋賀県内企業・事業所の経営者、現場責任者、幹部候補者等
- ②企業等退職者(例：生産管理専門責任者や改善活動等に従事・経験された方等)

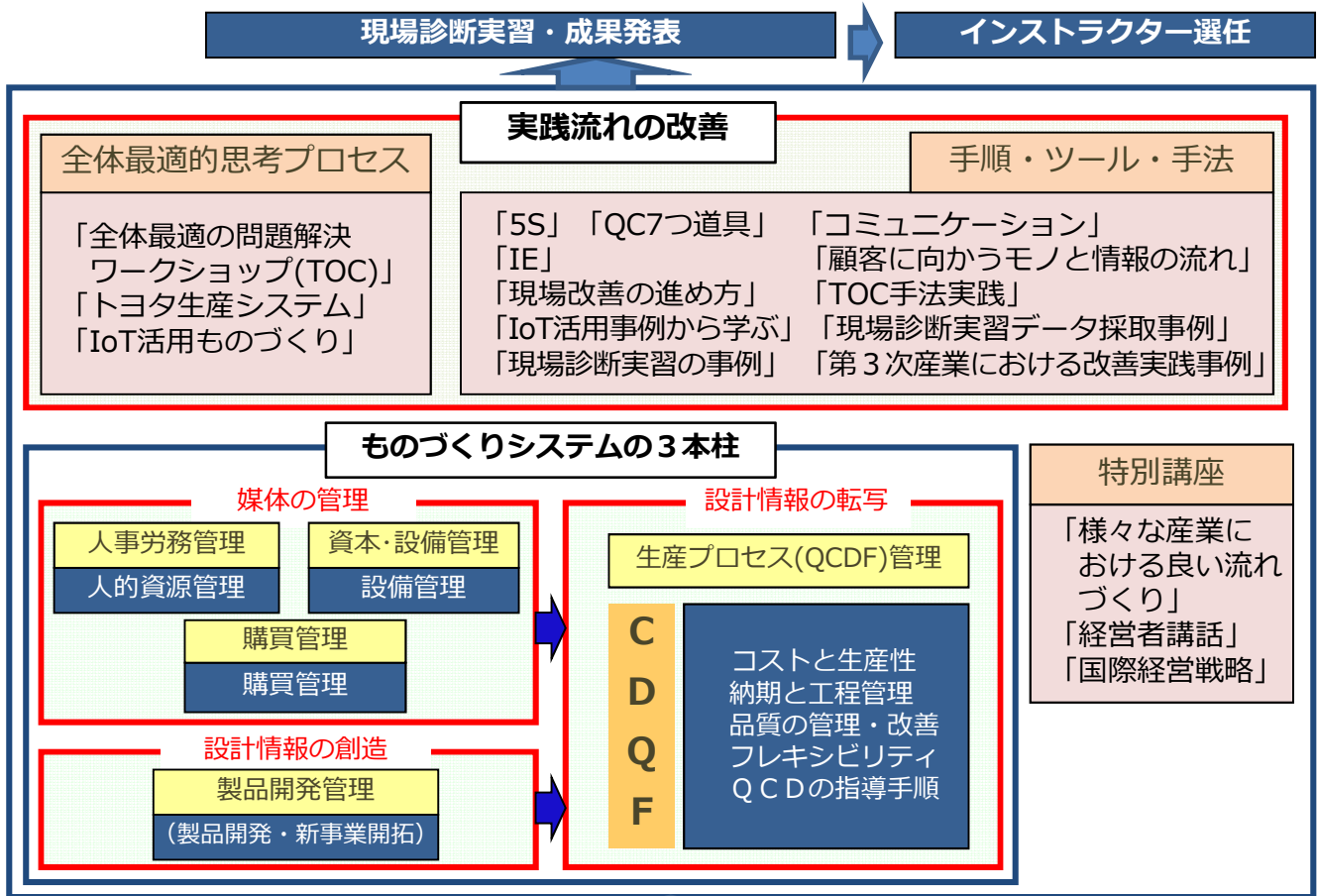
講座内容

- ①概論（生産性の高い現場づくりに必要な基礎概念等）
- ②理論・演習（工程・品質管理、生産性、QCDF、5S、IoT、改善の進め方等）
- ③現場診断実習（概論、理論・演習で学んだ知識を具体的に活かす実習）

講座概要

- ①実施期間：2019年8月30日～12月21日・計20回・6～7.5時間/日
・毎週金曜日（現場診断実習は11月末～12月に金・土曜実施(4回)）
- ②受講料：県内企業現場責任者、幹部候補者等 25万円(税抜)
企業等退職者 13.8万円(税抜)
- ③定員：12名程度 ④場所：滋賀県大津合同庁舎7階会議室
(※一部、別会場を使用する日があります)

★体系的な講義の構成



ものづくりの基礎概念/競争力と企業パフォーマンスⅠ(基礎)/競争力と企業パフォーマンスⅡ(測定の実際)

養成

生産性向上支援
インストラクター養成
スクール

スクール修了後は自社の現場改善を推進。さらに定着支援事業の活用により複数年かけて改善を定着 【企業等で現役の方】

インストラクター改善派遣事業、定着支援事業、ミニスクール事業により複数年かけて改善の定着を図る 【企業等退職者】

現場改善・
人材育成

(生産性・納期
・品質等)

活用

カリキュラム ～講座～

日付	講座名	内容
8/30	開講式	
	ものづくりの基礎概念	ものづくり技術の基礎概念とは何かを理解します。
	競争力と企業パフォーマンスⅠ	現場でのものづくり組織能力の大切さと企業の収益力やパフォーマンス、インストラクターの仕事領域について理解します。
9/6	競争力と企業パフォーマンスⅡ	現場でのものづくり組織能力の大切さと企業の収益力やパフォーマンス、インストラクターの仕事領域について理解します。
	コミュニケーション	現場で人を指導する際に重要な「コミュニケーション」と「コーチング」について理解します。
9/13	人的資源管理	ものづくり現場における「人」に関する基本的な考え方や人事・労務管理全般について、整理し、体系的に理解します。
	購買管理	広い意味での購買管理を取上げ、現場における基礎概念や具体的な購買管理システムの代替案等を理解します。
	5S	企業体質の改善に有効である5Sを理解します。
9/20	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、生産性とIE・標準作業との関連、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	設備管理	広義の管理(設備投資効果、事業性の評価と管理)および狭義の管理(日常管理;稼働、安全、保全)等の考え方、方法を学びます。
	QC7つ道具	起きている現象を定量化する基本ツールである7つ道具を理解します。
9/27	品質管理	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
	フレキシビリティ	QCDに加わるこの競争力要因の要素を分類し、変化と多様性の対応吸収手法に加わる新方法を学びます。
	経営者講話	経営者から見たインストラクターの活用事例等について、経験と成果を紹介いただきます。
10/4	納期と工程管理	納期(D)と背後にある生産数量・生産期間(T)、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	QCDの指導手順	QCDの関係、バランスについて考え、学びます。また、記録書式「定石シート」の記入の練習を行います。
10/11	IE	現場の作業改善の基本手法であるIEを、理解します。
	トヨタ生産システム	あらゆる企業で現場改善の考え方と手法として活用されているトヨタ生産方式の体系と概要について、「現場診断実習での視点」の診断項目と関連づけながら説明します。
10/18	IoT 活用ものづくり	IoTやロボットなどを活用する、スマートものづくり・コトづくりの基礎と考え方を理解します。
	IoT活用事例から学ぶ	IoTを導入することで生産性向上を実現した事例から実践的な活用手法を考えます。
10/25	様々な産業における良い流れづくり	ものづくり産業だけでなく、生産性向上がより求められる様々な業界において良い流れづくりをすることの必要性について理解します。
10/26	第3次産業における改善実践事例	ものづくり企業における改善手法について、他産業、特に第3次産業への水平展開を図るにあたり、実践事例を学びます。
11/1	全体最適の問題解決	TOC(制約条件の理論)のアプローチを体系的に紹介し、グループ討議などで学びます。
11/8	TOC手法実践	TOCを実際に現場改善に導入している事例をもとに実践する手法を学びます。
	国際経営戦略	世界のものづくりの状況から、今後の日本企業の戦略を概観します。
11/15	顧客に向かうモノと情報の流れ	VSM(Value Stream Map:ものや情報の流れ図)などプロセス分析の考え方と手法を理解します。
	現場改善での視点	「測定(診断)なくして改善なし」を原則に、ものづくり現場の工場診断を診断評価シートを使い、現場実習のみならず、改善指導を進める際の視点を説明します。



<2018年度スクールの様子>

カリキュラム ～現場診断実習・成果発表・修了発表～

日付	講座名	内容
10/4	現場診断実習事例Ⅰ	過去のスクールにて実施した現場診断実習について、指導員が詳細に解説します。
10/25	現場診断実習手順説明	現場診断実習のねらい、手順、目標、成果等について整理します。
11/1	現場診断実習データ採取事例	現場診断実習を効果的に行うために必要となるデータの取り方等について、事例紹介します。
11/15	現場改善での視点	「測定(診断)なくして改善なし」を原則に、ものづくり現場の工場診断を診断評価シートを使い、現場実習のみならず、改善指導を進める際の視点を説明します。
	現場診断実習事例Ⅱ	過去のスクールにて実施した現場診断実習について、指導員が詳細に解説します。
11/22・29 12/6・13	現場診断実習	4～5人一組のチームに分かれ、企業の現場における改善策を検討する実習を行います。
11/30・ 12/7・14	現場診断実習レポート作成	前日の実習をもとにチームによるディスカッションを行い、最終的な提案のまとめを行います。
12/20	成果発表	現場診断実習先企業において、実習成果をもとにした改善提案を行います。
12/21	修了発表(チーム・個人) 修了式	4か月間にわたるスクールの学習成果をもとにまとめた「個人定石」と、チームによる現場診断実習成果(改善提案)の発表を行います。

申込み・受講の流れ

1 お申し込み

- ・必要書類を8月20日(火)までに(公財)滋賀県産業支援プラザ内しが産業生産性向上経営改善センターあてに御提出ください。
- ・必要書類や宛先の詳細は、当応募要領末尾を御参照ください。

2 面接

- ・お申し込みいただいた方については面接を行います。
- ・面接の結果は、受講者決定後速やかに申込者あてに通知します。

3 ガイダンス

- ・受講者決定後、8月24日(土)にガイダンスを、コラボしが21 3階中会議室(大津市打出浜2-1)で実施します。
- ・ガイダンスでは、藤本隆宏教授の著書「生産マネジメント入門Ⅰ・Ⅱ」(日本経済新聞社)を教材として支給しますので、開講までの間、事前学習をお願いします。

4 修了・選任

- ・修了者には「生産性向上支援インストラクター選任証」を発行します。
- ・修了には、総講義時間の8割以上、現場診断実習2回以上の出席、修了発表実施の要件を満たすことが必要です。

5 修了後の活動等

- ・「定石研究会」を年に2～3回開催し、実際の改善活動事例の紹介や最新の情勢などの講義を行い、スキルアップを図るとともに、インストラクター同士の交流を深めます。
- ・企業退職者については、修了後、「インストラクター派遣事業」において、要請のあった県内中小企業等への派遣指導に参加いただきます。派遣された場合には報酬があります。

6 申込必要書類

- ①申込書 ②職務経歴書 ③会社案内(企業現役の方のみ、パンフレット等)
- ・所定の①申込書に必要事項を御記入の上、②職務経歴書および企業現役の方は③会社案内を添えて、(公財)滋賀県産業支援プラザ内しが産業生産性向上経営改善センターあて持参、または郵送で御提出下さい。
 - ・②職務経歴書は市販の用紙などを使用し、受講者御本人の職務の御経歴をご記入ください。
 - ・①申込書は(公財)滋賀県産業支援プラザで配布しているほか、以下のWEBサイトからダウンロードできます。 <https://www.shigaplaza.or.jp/mmic-2-2/>

問合先:公益財団法人滋賀県産業支援プラザ しが産業生産性向上経営改善センター
TEL:077-511-1423 FAX:077-511-1429 E-mail:mmic@shigaplaza.or.jp